

- ・正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・お読みになった後は、必要となったときいつでもご覧になれるよう必ず保管して下さい。
- ・注意事項もよくお読み下さい。

【機能・仕様】

- 時計機能(時刻、日付、曜日の表示) ■12時間/24時間制表示切り替え機能
- アラーム機能 ■時報(チャイム)機能 ■防水機能 非防水
- クロノグラフ機能 ■ストップウォッチ計測
最大計測時間 23時間59分59秒(ラップタイム計測つき)
- 使用温度範囲 5°C ~ 35°C ■時計クォーツ精度 月差±20秒



【デジタル時計のクロノグラフモードについて】

S3を押してクロノグラフ/ストップウォッチモードに切り替えます。
クロノグラフにはストップウォッチ計測とラップタイム計測があります。

①ストップウォッチ計測の操作方法

ストップウォッチ機能を表示した状態でS1でスタート/計測開始、もう一度押すとストップ/計測停止ができます。計測を止めた状態でS2を押すとリセットされます。いつでもS3を押すごとに標準時刻表示とクロノグラフモードが切り替わります。

②ラップタイム計測の操作方法

ストップウォッチ機能を表示した状態でS1でスタート/計測開始します。計測中にS2を押した時、ラップタイム(途中経過時間)を表示します。その間もストップウォッチは計測されています。そのままS2を押すと再び計測中のストップウォッチ計時が表示されます。ラップタイムは記録出来ません。S1を押して停止した後、記録を読みとります。計測を停止した状態でS2を押すと00:00状態にリセットされます。いつでもS3を押すごとに標準時刻表示とクロノグラフモードが切り替わります。

【デジタル時計の見方】

S3を押して標準時刻表示に切り替えます。

- ・標準時刻表示では時/分/秒/曜日が表示されています。
- ・S1を押すと日付/曜日(カレンダー)が表示されます。
- ・S2を押すとアラーム設定時刻が表示されます。
- ・S3を押すと表示モードが切り替えます。

①カレンダー月/日表示の切り替え

通常時刻表示の時S1を押したままS2を押します。
ボタン操作をする毎に月/日または日/月の順で表示が切り替わります。

②曜日表示は下記の通りの順で1桁の英語表記です。SとTは2つありますので合わせ読み取りの際ご注意ください。表示・・・日曜-S 月曜-M 火曜-T 水曜-W 木曜-T 金曜-F 土曜-S

※12/24時間制表示の切り替え

通常時刻表示の時S2を押したままS3を押します。12時間制のとき液晶右側にA(午前)またはP(午後)を表示24時間制のとき液晶右側は表示無し(時刻を24時間制表示)ここで選んだものがアラーム時刻表示にも反映されます。

【デジタル時計のアラームと時報(チャイム)について】

S3を約2秒間押しとアラーム時刻の時が点滅し、アラーム設定モードになります。

①アラーム時刻の設定

S2で時を合わせます。時の設定の際、液晶右にA(午前)またはP(午後)を表示します。S1を押すとアラーム時刻の分が点滅し、S2で分を合わせます。アラーム時刻を設定するとアラームマーク(II)が表示されアラーム音を鳴らす設定になります。S3を押してアラーム設定モードを終了します。

②アラームと時報(チャイム)の設定

標準時刻表示の時にS2を押しながらS1を押すとアラームと時報(チャイム)のON/OFF(設定/解除)ができます。アラームが設定されているときは、アラームマーク(II)が表示されます。時報(チャイム)が設定されているときは、ベル型のマーク(🔔)が表示されます。

③アラームと時報(チャイム)の解除

標準時刻表示の時にS2を押しながらS1を押します。
アラーム機能を解除した時、アラームマーク(II)の表示は消えます。
時報(チャイム)機能を解除した時、ベル型のマーク(🔔)の表示は消えます。

●アラーム音の停止

アラーム音が鳴った時、S2を押すとアラーム音は停止します。

【デジタル時計の時報】

※時報(チャイム)機能は設定されている時、毎正時に電子音を鳴らして知らせる機能です。
音を鳴らさないでご利用される場合は時報(チャイム)機能を上記の手順で解除して下さい。

【デジタル時計の合わせ方】時刻/日付の設定

【合わせ中にS3を押すと標準時刻表示にもどります。】

- ・S3を約2秒間押しとアラーム設定モードになります。この状態でS1/S2を操作しなくても一度S3を押します。通常時刻表示で秒が点滅しています。S2を押して00秒に合わせます。(S2を押して00秒に合わせる時00~29秒は分表示はそのままですが、30~59秒の時分表示は1分繰り上がります。)
- ・S1を押すと分が点滅し、S2で分を合わせます。
- ・S1を押すと時が点滅し、S2で時を合わせます。(時合わせの時、12時間制または24時間制どちらのときも液晶右にA(午前)またはP(午後)を表示します。)
- ・S1を押すと月が点滅し、S2で月を合わせます。
- ・S1を押すと日が点滅し、S2で日を合わせます。
- ・S1を押すと曜日が点滅し、S2で曜日を合わせます。
曜日表示は下記の通りの順で1桁の英語表記です。SとTは2つありますので合わせ読み取りの際ご注意ください。表示・・・日曜-S 月曜-M 火曜-T 水曜-W 木曜-T 金曜-F 土曜-S

【リチウム電池の交換について】

この製品にはリチウム電池 CR2032 を使用しております。
デジタル時計の内蔵リチウム電池の電池寿命は通常使用(時計動作・アラームを1日1回)で約5年ですが、ストップウォッチを計測し続けたり、アラーム機能を多用する等、機能の使用頻度/状況によって電池消耗は異なり電池寿命は短くなります。
<機能の使用状況によって消費電力は異なり上記の規格電池寿命より早く電池容量不足になる事があります。>
機能/動作の時、液晶表示が薄くなったり、アラーム音が小さくなった時は電池交換が必要になっている事が考えられます。

電池交換は裏側のネジを外して行います。ドライバー等の工具を使用しますのでご自身や周囲への怪我等の事故が無い様に充分にご注意下さい。また、ネジ等の小さい部品は紛失や怪我等の事故が無い様にご配慮をお願いします。

時計組み立て時にはモニター電池が組み込まれている為時計は規格寿命に満たないうちに電池が切れる事があります。モニター電池は時計の価格には含まれておりません。保証期間内であっても電池交換は有料となります。

※小型銀電池やコイン型電池のお取り扱い上の注意

本製品に使用されている小型銀電池やコイン型電池を保管する際には、乳幼児の手の届かない安全なところへ置いて下さい。万一、飲み込んだような場合には、ただちに病院や医師にご相談下さい。また、保存状態によっては液漏れ等がある場合もあります。使用済み電池を廃棄する時、絶対に火の中に入れてください。廃棄は自治体の規定に従った方法を行って下さい。故障・破損した電池や使用済みで容量の不充分な電池を使用しないで下さい。